

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合野外活動実習Ⅲ		
担当者(Instructors)	中野 匡隆	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択
実務家教員科目(Pro teacher course)			

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

総合野外活動実習Ⅲにおいては、日常生活から離れて大自然の中での雪山という環境下で活動を実施する。その活動を通じて、スノースポーツの楽しさを体験するとともに、新しい技術の習得及び技術の向上を目的とする。その過程で、自分と向き合うとともに仲間と協力をする。また、スノースポーツの楽しみ方、ルールやマナーについても学び、安全面の指導を含めて指導者としての知識・技術を習得することもねらいとする。さらに、スノースポーツが子どもから高齢者、障害者を含めたみんなのスポーツであることを理解させ、生涯スポーツとしての理解も深めさせる。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	実験・実習
授業の方法(Class method)	実技形式で集中講義を行う。スキルレベル別のグループワークを取り入れる。
当該科目と実務との関係(Relationship between course and practice)	現地のスキー場の専門インストラクターによる実技指導およびSAJ（全日本スキー連盟）認定の資格を持った担当教員からスキルを学ぶ。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	履修ガイダンス	【対面】 授業の目的、方針、ルール、評価の方法の説明をする。	<input type="checkbox"/>
第2回	スノースポーツの歴史	【対面】 スノースポーツ（スキーやスノーボード）の歴史を学び、実習の趣旨を理解する。	<input type="checkbox"/>
第3回	スノースポーツの傷害及び安全対策	【対面】 スノースポーツ（カービングスキーやスノーボード）の安全対策を学び、傷害が発生しない取り組みをする。	<input type="checkbox"/>
第4回	スキー板及びスキー靴の選び方	【対面】 カービングスキーの板やスキー靴の合わせ方や用具の調整方法を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第5回	セフティーバインディングの調整方法	【対面】 カービングスキーのバインディングの調整方法を学び、実習中の傷害予防に努める。	<input type="checkbox"/>
第6回	スキーのためのコンディショニング方法	【対面】 スキーのためのコンディショニング方法を学び、傷害が発生しない取り組みをする。	<input type="checkbox"/>
第7回	カービングスキーの基礎技術 1	【対面】 カービングスキーの用具に慣れ、基本動作を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第8回	カービングスキーの基礎技術 2	【対面】 カービングスキーによる方向転換、登行、滑降の基礎を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第9回	カービングスキーの基礎技術 3	【対面】 カービングスキーによるブルーク、斜滑降、ターンの基礎を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第10回	カービングスキーの応用技術 1	【対面】 初級から中級コースでの大回りターンを実習する。	<input type="checkbox"/>
第11回	カービングスキーの応用技術 2	【対面】 中級コースでの大回りターン及び小回りターンを実習する。	<input type="checkbox"/>
第12回	班別ミーティング	【対面】 実習後、班別ミーティングを行い、実習の振り返りを行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	総合滑走 1	【対面】 初級から中級コースでの大回りターン及び小回りターンのスキルを向上させる。	<input type="checkbox"/>
第14回	総合滑走 2	【対面】 中級以上のコースでの大回りターン及び小回りターンのスキルを向上させる。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	【対面】 これまでの実習の総括をし、スキーバジテストに向けて復習をする。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

【事前学習】説明会を含む、事前学習会に必ず全て出席すること（2時間程度）。【事後学習】現地実習で習得した技術、ルールやマナーを確認および向上させるために、実習記録を作成する（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

実習ノートは添削してから返却し、全体として共通のポイントに関しては全体で共有し、個別のポイントに関しては学生個々に個別指導をする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	スノースポーツに関するルールやマナーを含めた安全面の指導や基礎的かつ安全な滑走ができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

その他100%（積極的な参画20%、授業課題60%）

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	総合野外活動実習III資料を配布する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		